

授業の様子を見学する体験プロジェクトの参加者ら(奥)
=17日、高浜小



1次産業体験者 学校に来る

■高浜でプロジェクト

地元児童と交流

みんなで
…… 読もう

高浜町で1次産業を体験するプロジェクト参加者が17日、同校で開かれた。高浜小児童の交流活動と高浜小児童の交流活動が17日、同校で開かれた。児童が取り組むアクセサリープロジェクト参加者は4人。児童が取り組むアクセサリー開発の現場を見学し、互いに会話を楽しみながら交流を深めた。

プロジェクトは地域の関係人口創出などを目的に一般社団法人日本ウェルビング推進協議会が実施。高浜町は参加者の受け入れ先の一つで、東京や大阪から4人が参加し、21日までの7日間で定置網の見学やイベントでの販売活動などを行う。児童との交流活動もプログラムの一つ。同校では6年生がペットボトルキヤップを使つたアクセサリーの開発に取り組んでいる。この日は30人が分かれ、試作品の製作や口ゴマーケなどを考えた。4人は授業風景の写真を

撮ったり、「誰に買ってもらいたいかを考えてみて」「ロゴマークには高浜に関連したものを入れてみるといい」とアドバイスした。商品広報を担当する児童のさんは「いつも違った視点からアドバイスをもらつたので、それを生かして、商品や活動を発信していきたい」と話した。福岡から参加したさん(50)は「問題解決能力も養え、児童がすごくうらやましい」と話していた。